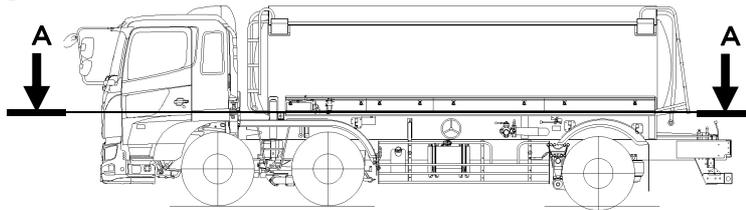
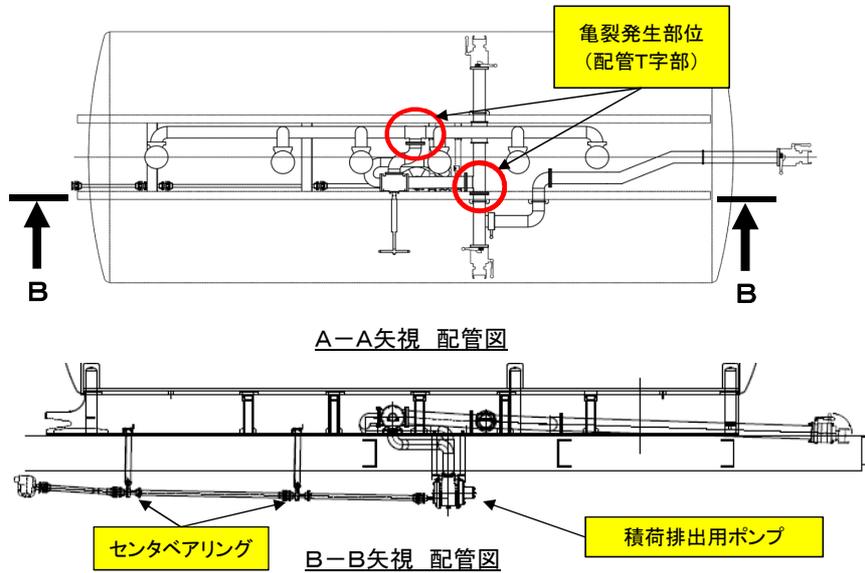


## 改善箇所説明図

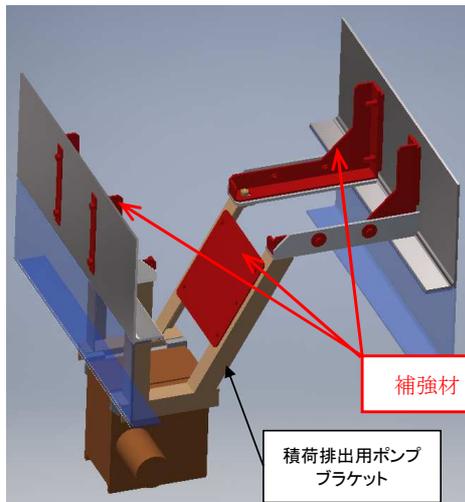
【対象車両外観】



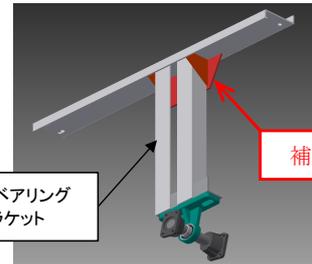
【不具合対象部位】



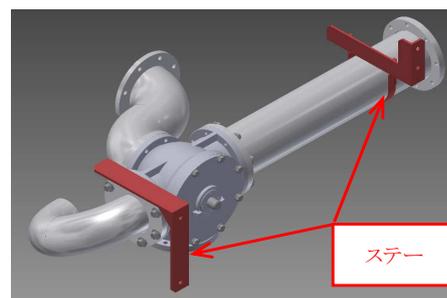
【改善対象部位詳細】



積荷排出用ポンプ ブラケット補強材追加



センタベアリング補強材追加



配管固縛ステー追加

   対策品を示す

【不具合の内容】

アルミタンクローリーの積荷排出用ポンプにおいて、設計不良により、ポンプブラケットの剛性が不足しているため、ポンプと連結した配管に亀裂が発生するものがある。そのため、そのままの状態で使用続けると、荷下ろし作業中に積載物が漏れ、最悪周囲に火種があった場合に発火して火災になるおそれがある。

また、ポンプブラケットの剛性が不足しているため、ポンプ駆動軸同士を連結するセンタベアリングのブラケットへ亀裂が発生し、荷下ろし作業ができなくなるおそれがある。

【改善の内容】

- ①全車両、ポンプブラケットおよびセンタベアリングブラケットへ補強を追加する。また、配管固縛ステーの追加が必要な仕様においては、当該ステーを追加する。
- ②全車両、配管の亀裂有無を確認し、亀裂が確認された場合は補修工事を実施、もしくは配管を新品に交換する。

【識別方法】

改善実施済車には運転者席側ドア開口部のドアロックストライカ付近に No.5143のステッカーを貼付する。